

ホワイトハンドコーラスNIPPON
音楽による社会アクション
応援隊募集中！



ホワイトハンドコーラスNIPPONは
ろう者、難聴、弱視、車いすユーザーを含む
すべての子どもが無償で参加できる
未来のインクルーシブ合唱団

もっと多くの子どもたちと「ともに創る音楽の場」を！

貧困と体験格差

82%

「文化芸術体験ない」
日本の低所得層の子ども

インクルーシブ教育の遅れ

50%以上

「障がい者と関わった経験ない」
日本の小中学生

障がい者への差別偏見

13億人

世界の障がい者人口

選べる応援プログラム(詳しくは裏面へ)

- ・ マンスリーサポーター ・ 単発寄付
- ・ ふるさと納税 ・ 学んで応援



ホワイトハンドコーラスNIPPONとは

南米ベネズエラ発の音楽の社会活動「エルシステマ」は世界70の国と地域に広がっています。私たちが取り組む社会課題は、①障害のある子どもない子どもともに学ぶ権利の保障、②ろう者がろう者らしく楽しめる音楽教育の追求、③貧困と体験格差の問題解決です。手話の表現で歌う（手歌）サイン隊と、声で歌う声隊がともに奏でる音楽は、可能性に溢れた未来世代の芸術創造。音楽家、俳優、写真家などプロのアーティストたちと「枠」を壊す創造活動を通して、子ども、家庭、市民社会の関わりが生まれ、互いに学びあう変容が始まります。ホワイトハンドコーラスNIPPONの革新的な活動は、バリアフリーのアカデミー賞と言われる「Zero Project Award2024」をはじめ、国内外で高く評価されています。



やなせたかし文化賞
YANASE TAKASHI CULTURAL AWARD

主な活動



バッハ・コレギウム・ジャパン
「第九」共演 (2021年)



NHKみんなのうた
SDGsソング《ツバメ》(2022年)



アンドロイド・オペラ
渋谷慶一郎作曲 (2021年・2024年)



オーストリア国会議事堂および国連
ウィーン事務局 招聘公演 (2024年)

応援隊のみなさまと 実現できたこと

無料ワークショップ開催数

519回

延べ参加者数 (6割は障害のある子ども)

15,185名

観客動員数

30,941名

メディア掲載数

112 (TV、新聞、ラジオ、雑誌)

※2020-2024年度

4つの応援方法 (法人のご支援も受付中です。お問い合わせください。)

皆さんからのご支援で、音楽ワークショップ中の手話通訳、楽譜や手袋などの教材を子どもたちに届けることができます。

①

マンスリーサポーター

個人/法人

毎月メールで活動報告と、特典動画を
お届けします。



¥1,000～/月

②

単発寄付

スポットサポーター

(クレジットカード/電子決済/銀行振込)



¥1,000～

③

ふるさと納税

当団体は東京都中央区のふるさと納税
応援指定団体です。(税額控除あり)



(自己負担額)

¥2,000～

④

学んで応援

(クレジットカード/電子決済/銀行振込)

ポッシボのがっこう



DEI について学びませんか？

(ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン)

『枠』を壊す、想像と創造のチカラを養成する講義コースとゼミコース
をオンラインで開講します。教育関係者、企業の経営層・DEI担当者、子
育て中の方におすすめです。

詳しくは「ポッシボのがっこう」で検索を！

私たちの決意

私たちは「障がい」という言葉を使わず、それ
ぞれの違いを「コンディション」と呼びます。
でも日本手話では「壊れた人」と表されます。私たち
は壊れてなんかいません。違いを知ることは世界の美
しさに気づくこと。「障がい者＝壊れた人」という
手話表現を変えたい。
これが私たちの決意です。